

学びを自覚し、学びを生かそうとする子供の育成

～学び合いと振り返りの充実に向けた授業改善～

萩市立椿西小学校

1 はじめに

令和3年度より、「学びを自覚し 学びを生かそうとする子供の育成」を研究主題とし、研究を進めてきた。

特に、振り返りについては、視点を設定して書かせるようにすることで、自己の学びの過程を振り返り、学習の中で獲得した知識や力、そして、これからの学習に対する意欲を表現することができるようになってきた。

一方で、語彙力や表現力の不足から、一人学びで考えたことを、自分の言葉で表現することに難しさを感じる児童も多い。一人一人の語彙力や表現力を高めて一人学びをさらに充実させること、そしてそれを繋いで学びを深めることに力を入れて、主題解明に迫った。「学びを生かそうとする」ためには、振り返りを充実させ、単元や教科の中での学びを繋いでいくことが必要だと考える。視点を明確にした振り返りを継続して行うことで振り返りの充実を図るとともに、学ぶことの楽しさに気付き、主体的に学習に取り組むことのできる子供を育てたい。そこで、今年度は「学び合いと振り返りの充実に向けた授業改善」を副主題として、授業づくり・授業改善を進めていった。



2 研究の視点

- (1) 単元構成やめあての工夫
- (2) 学び合いの充実
- (3) 振り返りの充実



3 授業研究会

(1) 授業公開

- ・第3学年
指導者

国語科 単元名『まいごのかぎ』
山口大学教育学部附属山口小学校
教諭 五十部 大暁 様

- ・第6学年
指導者

国語科 単元名『やまなし』
山口県教育庁義務教育課
指導主事 住江 めぐみ 様

- ・特別支援学級第3学年 国語科 単元名『ちいちゃんのかげおくり』
指導者 萩市立多磨小学校
教頭 福隅 隆行 様

(2) 授業について

- ・すべての授業公開をユニット型研修会とし、学校運営協議会委員に本校の取組、授業を見ていただいた。子供の学習の様子を参観したり、授業研究の成果について協議したりすることができ、大変有意義な研究会となった。
- ・3授業ともに講師を招聘し、国語科の単元構成のポイント、学び合いの充実、特別支援教育の視点等、様々な指導助言をいただき、大変実りのある研修となった。



4 おわりに

今年度、授業研究を国語科に絞ることで、教科の系統性についても学ぶことができた。3授業以外にも、全教員が一人一授業として授業を公開し、協議を行った。お互いの授業を参観することで、刺激となり授業力も高まっていった。そして、めあてや振り返りについては、しっかりと意識した授業が行うことができている。

しかし、単元全体を見通した授業づくり、学び合いを充実させる教師の問い返しには課題が残った。また、ICTの活用については、担任によって活用頻度に差があることに課題が残る。

今後も、放課後のミニ研修会、学年の指導内容の整理を行い、実践を積み重ね、共有し、子供の学びの質を高めるICTの活用、授業づくりに、引き続き取り組んでいきたい。

